

内級最大 46m ブーム車導入

ヤマコン B C M 格付融資を活用

藤社長をはじめとする多数の社員が出席した。

今回、同社が導入したのはドイツに本社を置くフツマイスター社製のポンプ車を国内向けに改良した特別仕様車両「B S F 46・5・16 H z」。最大垂直リーチ



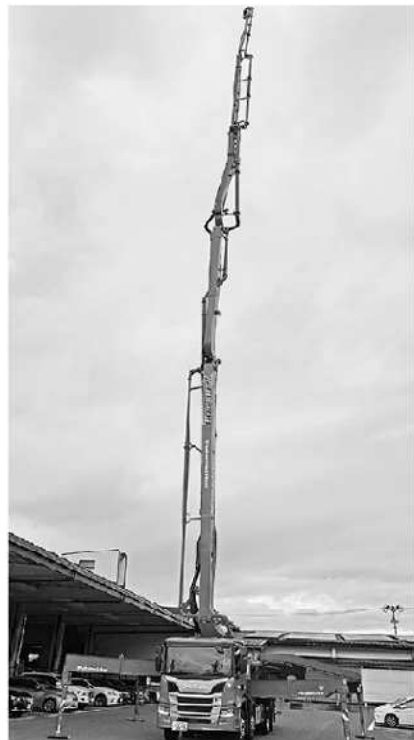
関東エリアの大型工事で活用

45・5 階という国内最大級のブームを備えており、ブーム長30 階の一般的なポンプ車に比べて上方45・5 階（15 階建てのマンションに相当）、下方32・8 階、水平40・5 階と作業半径が10 階以上広がることでより高く、より深く、より先にコンクリートを圧送できる。長さ3・8 階とサイズをコンパクト化しており、公道でのスムーズな走行が可能になっている。同社は2018 年にも

同型機を先行で導入しており、今回の導入は2 台目。「先行導入した車両は東京オリンピックの主会場となった国立競技場の建設工事で使用されたほか、東北地方では三陸自動車道・三陸北縦貫道路・八戸久慈自動車道の延長約360 ㎞を東日本大震災の復興道路として三陸沿岸道路の整備事業でも活躍した。近年はコンクリート圧送業でも省力化や効率化に寄与する大型機械の需要が高まっているため、今回導入した車両を関東エリアで積極運用することで、さらなるニーズに応えていきたい」と佐藤社長としている。

国内最大手のコンクリート圧送業者であるヤマコン（山形県山形市、佐藤隆彦社長）はこのほど、46 階ブームを備えたフツマイスター社製の超大型コンクリートポンプ車を導入した。日本政策投資銀行（DBJ）の「BCM 格付」融資制度

を利用して設備投資で、作業時間短縮や生産性向上、業務効率化を目的としたもの。今後は同車を千葉県船橋市の湾岸営業所に配備し、関東エリアでの大型工事における打設で活用する。8 月26 日、同社本社の屋外駐車場を納車式が行われ、佐



長尺アームで作業半径は10m 以上広がる

設備投資に際して活用した「BCM 格付」融資制度は、DBJ が独自の評価システムで防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定するもの。ヤマコンは今年7 月、同制度に基づく格付を取得し、DBJ から融資を受けていた。